

受付番号：2019-1-097

課題名：ICUにおける胸腔鏡下肺切除患者の術後痛と鎮痛法の後向き研究

1. 研究の対象

2015年1月～2017年12月に当院で胸腔鏡下肺手術を受け、手術後に集中治療部に入室した方

2. 研究目的・方法・研究期間

完全胸腔鏡下肺手術は低侵襲で術後痛も従来の胸腔鏡下肺手術より小さいとされているが、文献的な報告はあまりない。本研究では東北大学病院で肺手術を受け、集中治療部(ICU)で術後に観察された20歳以上の患者を対象とする。患者主要測定項目をICU入室から最初に追加鎮痛薬が用いられるまでの時間とし、副次測定項目を数値疼痛評価スケール(NRS)で6以上となるイベントの有無として、術後痛や鎮痛法との関連につき統計比較する。肺手術患者を過去の診療録(カルテ)情報を調査して、統計比較することで、その最適な鎮痛法について検討する。研究は2018年4月～2020年3月で行う。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録の情報：手術術式、鎮痛法、鎮痛薬の種類と量、等

4. 外部への試料・情報の提供

該当なし

5. 研究組織

本学の単独研究である。

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究責任者：杉野繁一

所属：東北大学病院 手術部(麻酔科)

住所：仙台市青葉区星陵町 1-1 病棟東 3 階 麻酔科医局

電話 022-717-7321

◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関するお問い合わせ先：「6. お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の1(3)>

- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

- 1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

- 2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口に提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の2(1)>

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合